

愛媛県

共同受注参加事業所勉強会

私たちはどこに向かうのか？

平成30年3月19日（月）

愛媛県総合社会福祉会館 4F 第2会議室（松山市持田町3丁目8-15）

タイムテーブル（案）：

14：00 開会の挨拶、共同受注について

第一部

14：15 講演1 長谷 渉氏

「帯広電信通り商店街振興組合 活性化計画
&実施事業 「売り場」から「広場」へ

15：15 休憩

第二部

15：30 講演2 益原 忠郁氏

「共同受注窓口設置事業について」

16：30 情報交換会

17：00 終了



企画にあたり

講演1：長谷 渉氏

帯広電信通り商店街振興組合 理事長

帯広電信通り商店街振興組合の理事長とし、平成23年度の商店街活性化モデル創出事業にて障がい者や高齢者にやさしい商店街をスローガンに取り組みました。商店街の空き店舗に障がい者支援施設を招き、「売り場」から「広場」に生まれ変わらせた事例は、様々なところで取り上げられています。

愛媛県に置いて、商店街のシャッター化や空き家率の高さ（H25全国2位）が問題になっています。障がい者が限られたエリアでのみ生活する事を強いられた地域より、障がい者はじめとした弱者にやさしい社会がくらしやすい社会かもしれません。長谷氏のお話から、『地域と障がい者支援施設』をみなさんと一緒に考えればと思います。

講演2：益原 忠郁氏

社会福祉法人 南風荘 セルプ岡の辻 管理者、
特定非営利活動法人 日本セルプセンター 副会長、
全国社会就労センター協議会 事業振興委員会 委員長

日本セルプセンターの副会長、全国社会就労センター協議会では事業振興委員会の委員長を務められ、全国各地の共同受注はじめとした障がい者就労の取り組みに尽力されています。山口県は、山口県域と地域の各圏域がそれぞれが連携し共同受注窓口が共存しています。

愛媛県でも7圏域の共同受注窓口が存在しますが、愛媛県域の共同受注窓口が設置されておらず、今後の課題となっております。益原氏のお話から、山口県はじめとした各地の事例を紹介いただき、『共同受注と障がい者支援施設、愛媛県のスタイル』をみなさんと一緒に考えればと思います。

開場 13：30

定員 30名

第一部・二部どちらかの参加も自由です。

対象 行政職員、共同受注参加事業所、障がい者支援施設、まちづくり・地域振興されている方など
どなたでも参加自由です。

お問合せ・お申込み

089-923-5002 info@e-ica.com

一般社団法人えひめICTチャレンジド事業組合 兼久迄

申込みフォーム <https://goo.gl/xaoSQE>

※駐車場がありませんので、
公共交通機関をご利用ください。

